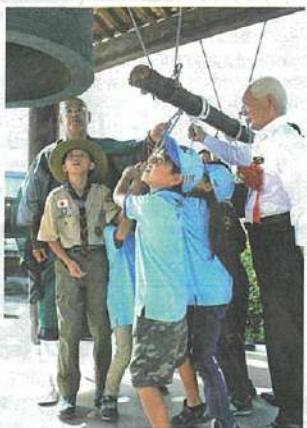


# 「和を願って」



高田寺にある医王山高田寺で原爆の日の8月6日、「平和の鐘を打ち鳴らして世界平和を祈る集

高田寺にある医王山高田寺で原爆の日の8月6日、「平和の鐘を打ち鳴らして世界平和を祈る集

い」が開かれ、市民ら70人余りが参加した。昭和62年から毎年続けられて

いていった。ボーイスカウトやカブスカウト、市文化財愛護少年団の子どもたちや長瀬保市長、永津正和市長、檀信徒などが順番に鐘楼に上がり、鐘をつく。蝉までも平和を願うかのよう

## 高田寺で平和の鐘

柴田真成 住職は「この鐘は、戦争中に供出で鐘がなくなった

後、戦後すぐに檀信徒の皆さん始め住民の皆さんのご好意で作られたものです。もう二度と戦争が起らないようにと平和への願いを込めて作られ

ました。不穏な空気が流れる昨今ですが、こどもこの鐘を皆さんで打ち鳴らすことで、平和が永久に続くようにと願いました」とあいさつした。

## 平和を世界に訴えつづける

「北名古屋市平和記念式典」が、8月15日に文化勤労会館で開かれ、500人余りの市民が参加した。



## 平和記念式典

後、長瀬保市長が市民らから寄せられた「平和を願うあなたの記(しるし)」を献上した。そして、児童館の子どもたちが折った千羽鶴を代表の子どもたちが献上した。

また、天神中学校3年生の岩田莉奈さん「もう一つ世界で原子爆弾をなくそうとしないのか。斉になくすべきだと思っ」と発表した。

## 海外展開も進める

「企業トップと市長との意見交換会」が8月3日に市役所で開かれ、市内3社の企業トップと日本貿易機構(シエトロ)名古屋商工会などが参加し市長や職員らと意見を交換した。

後の展望などを話した。ゼネラルパッカー(株)は、食品包装機器の製造を行っている会社で、刷り節のパッケージ用包装機械では国内シェアトップ。高級ペットフード用の包装機器は多くの受注を受けており、海外へ輸出もしている。国内での限界を見据え、東南アジアや中国に輸出するなど、今後の展開も考えているという。

東海工業(株)は、平成23年に中小田井から北名古屋に移転。畳を作る機械を生産しており、世界一のシェアを誇る。中国で4畳半や6畳の畳の部屋がブームになっており、他の東南アジアでも畳の良さを知ってもらい提案をするなど、積極的に活動している。

7回目の今回は、ファシリテーターにシエトロ地域統括センター長名古屋貿易情報センター所長の三根伸太郎

東海工業(株)は、平成23年に中小田井から北名古屋に移転。畳を作る機械を生産しており、世界一のシェアを誇る。中国で4畳半や6畳の畳の部屋がブームになっており、他の東南アジアでも畳の良さを知ってもらい提案をするなど、積極的に活動している。

各企業の業務紹介の後にはランダムに懇談が進み、互いに屈託のない会話が弾んだ。参加者は次の通り。

ゼネラルパッカー(株)梅森輝信代表取締役社長、東海機器工業(株)内

各企業の業務紹介の後にはランダムに懇談が進み、互いに屈託のない会話が弾んだ。参加者は次の通り。

各企業の業務紹介の後にはランダムに懇談が進み、互いに屈託のない会話が弾んだ。参加者は次の通り。

## 企業トップと意見交換会



ゼネラルパッカー(株)梅森輝信代表取締役社長、東海機器工業(株)内

藤誠治代表取締役社長、日進医療器(株)松永圭司代表取締役、日本貿易機構・三根伸太郎地域統括センター長名古屋貿易情報センター長、杉野祐敬商工会長、三和かつ彦商工会事務局長、長瀬保市長、日置英治副市長、岩越雅夫統括参事、坪井光広建設部長

市内の少年少女合唱団の団員らが登壇し、会場の参加者と共に、「平和都市宣言と平和憲法のもと、あらゆる国から核兵器が完全に廃絶されることを心から願う、併せて世界各地で起きている紛争が一日でも早く集結することを願う、全人類永遠の平和を確立するために、私たちは平和を世界に訴えつづけていくことを誓います」と「平和の誓い」を声高らかに唱和した。